



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 株式会社 あじ鮮：ネット取引で魚を直送する

5

佐賀県唐津市に本社をおく株式会社あじ鮮（新井信好社長）は、漁業者と小売店がインターネットを使い、魚を直接取引するシステムを提供している。仲介業者を通す方式よりコストが安く、配送時間も短い。漁業者が撮影した魚の動画を小売店がモニターで確認し、双方が納得した取引ができる。

10

「今日も生きが良さそうだ」小売店の鮮魚担当者がパソコンをのぞきながら、手際よく発注してゆく。鮮魚担当者が操るのが「あじ鮮」のリアルタイム買い付けシステムだ。スーパーや飲食店のバイヤーがネットを使って動画や音声、水揚げデータを見ながら、自分の買いたい魚の種類、量、希望価格を入力する。漁業者や漁協から直接水産物を購入する会員制の受発注システムだ。

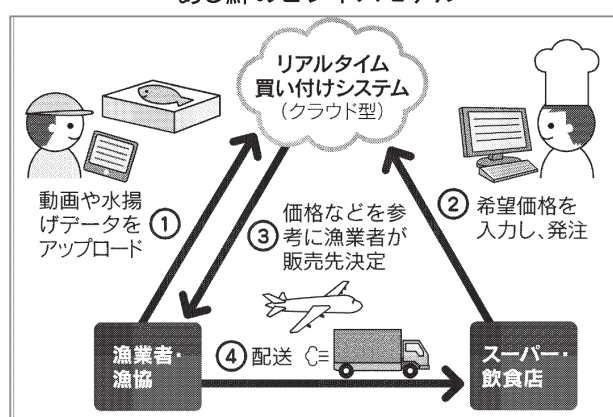
15

一方、売り手の漁業者は複数登録した買い手の中から、入力された希望価格などの条件を参考に販売先を選ぶ。ネット上で競りをする感覚で、価格交渉しながら販売できる。仲介業者を介さないことで、漁業者は約2割高く魚を売ることができ、逆に買い手は約2割安く手に入れることができる。

システムにかかる費用は初期導入費の10万円と毎月のサービス料が1万500円。その他に、買い手は購入額の11・5%、売り手は販売額の2%を「あじ鮮」に支払う仕組みである。

20

あじ鮮のビジネスモデル



25

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 磯辺剛彦（2014年12月作成）